

鶴ヶ島清風高生が作る 鶴ヶ島市PR動画

鶴ヶ島清風高校1年生は、総合的な探究の時間に、鶴ヶ島市とEdukuri株式会社と連携し、鶴ヶ島市の魅力を発信するPR動画作成に取り組みました。総合的な探究の時間の内容は各学校で決定します。鶴ヶ島清風高校では、「地域に貢献できる人材の育成」を目指す学校像として掲げています。そこで、自分たちの通う鶴ヶ島市について理解を深めるとともに、鶴ヶ島市唯一の高校として地域に貢献できる存在へと成長してほしいという想いから企画されたものです。

問 秘書広報課広報広聴担当



産官学連携事業

鶴ヶ島清風高校



鶴ヶ島市

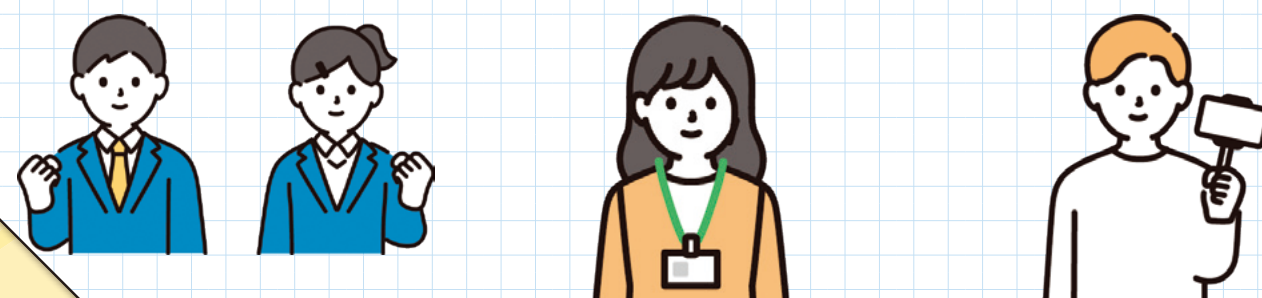


エツクリ
Edukuri(株)

市から得た情報をもとにPRしたい魅力を探す。Edukuri株式会社から学んだスキルを活かし映像制作を行う。

地域の最新情報やPRポイントについて情報を提供。生徒の作品を市ホームページに掲載するなどの広報協力を行う。

映像制作を通して生徒の成長を支援することを活動の目標とする企業。プロフェッショナルな視点での技術指導を行う。



鶴ヶ島清風高校 教諭
金井 卓也先生

本プログラムは、Edukuri株式会社のCEO濱田茂音様からご提案いただき、生徒たちが地域のために何か貢献できるようにってほしいという想いからスタートしました。

クラスの垣根を越え、男女のチームを組み、大人に直接電話をかけてアポイントを取るなど、生徒たちにとって非常にハードな挑戦だったと思います。

困難を乗り越えた生徒たちの映像作品やプレゼンテーションの創意工夫には本当に驚かされました。全47チームそれぞれにストーリーがあり、紆余曲折を経て1本の動画を完成させたこの過程は本当に素敵なものでした。地域の皆さま、関係者の皆さまに、この場を借りて深く感謝申し上げます。

本プログラムは「自己効力感」を高めることを目的に、映像の質ではなく、制作過程の学びに焦点を当てて設計いたしました。

鶴ヶ島市の魅力を深掘りし、動画を通じて「誰に」「どのような想い」になつて欲しいかを意識しながら、撮影から編集も生徒自身が行いました。

撮影のアポ取りで断られたり、チーム内で対立したりと、様々な困難がありました。生徒自身で試行錯誤をし、最後には「意外とできた!」という成功体験を得ていただけだと思っています。



Edukuri株式会社
濱田 茂音さん

第3位
「地域の湯。憩いの場」

制作者
チーム毛呂山

あべ けい ちゅう けい かい けい かい けい かい
・阿部 穂輝 ・市川 明華 ・石井 優人

受賞コメント

市内唯一の温浴施設「蔵の湯」の魅力に焦点を当てて動画を作りました。このプログラムを通して、仲間と1から作り上げる楽しさや達成感を味わえただけでなく、意見がぶつかり合うこともありました。しかし最終的には、チームが一つになり素晴らしい作品を完成させることができました。先生やEdukuriさんがサポートしてくださったからこそ素晴らしい経験ができたと思っています。この数ヶ月間とても濃い時間を過ごすことができました。撮影に協力してくださった蔵の湯の皆さん、朝早くから撮影に協力してくださりありがとうございました。

第1位
「鶴ヶ島歴史巡り」

制作者
チームカナブン

たかはし こうしろう たなか しゅう き こばやし ゆう わ
・高橋 弘志郎 ・田中 渉貴 ・小林 結和

受賞コメント

鶴ヶ島市に存在する「日常に溶け込む歴史」を伝えたいという思いから、この動画を作成しました。私たちが受賞して最初に思ったことは「なんで私たちが!？」という驚きでした。全く予想しておらず、思わず椅子から飛び上がってしまったくらいです。この受賞は、アドバイスをくれた友だちやEdukuriさん、撮影の許可だけではなく歴史や撮影スポットを教えていただいた三ツ木慈眼寺さんなど多くの方々のおかげであってこそその結果です。この経験を糧にこれからも頑張っていくと思っています。

制作者
STY(エスティーワイ)

さくらざわ み お とね がわ やました りょう た
・更澤 光桜 ・利根川 ののか ・山下 良太

受賞コメント

私たちが撮影する際に気を付けたことは、普段の様子を意識して演じることでした。このプロジェクトを通して間違いなく演技力が身についたと思います。苦労した点は、なかなかチームメイトの予定が合わなかったことや、編集が上手くいかなかったことです。発表当日、緊張とワクワクが入り混じった気持ちでしたが、いざステージに立つと不思議と緊張は消え、楽しさだけが残りました。オーディエンス賞を受賞したときは、嬉しさのあまり多くの人に自慢してしまいました。この経験を部活動で取り組んでいる動画制作に生かしたいと思っています。

オーディエンス賞
「鶴ヶ島JKの1日@ワカバウォーク」

私たちが考える鶴ヶ島の魅力

受賞作品紹介

Director
Camera
Date

総勢200人47チームが今回の動画制作に挑みました。約4か月にわたってスマートフォンで撮影や編集を行い、自分たちが思う鶴ヶ島の魅力を1本の作品に詰め込みました。3月17日、校内選考で選ばれた12チームの上映会(コンテスト)が行われました。選考の結果上位に入賞した5チームを紹介します。

第2位
「地域の想いをつなぐ神社」

制作者
チームNAOTO(ナオト)

おおくし さく 村川 なおと こまき か な
・大串 朔 ・村川 修斗 ・小牧 可奈
・高橋 和

受賞コメント

市の魅力を伝えるために、市内に工場がある株式会社IHIを取材しました。事前に、羽田空港に足を運び、IHIのエンジンを搭載した飛行機の離陸シーンやエンジン部分の撮影を行いました。私たちの想いをぶつけたところ、取材を実現させることができました。日本を代表する会社IHIを私たちと同世代の方々を知ってもらいたいという思いで、有名なIHIのCMを見た高校生が動き出す、そんなストーリーの映像を作りました。ぜひご覧ください。

第2位
「世界とつながるエンジン」

制作者
チームNAOTO(ナオト)

おおくし さく 村川 なおと こまき か な
・大串 朔 ・村川 修斗 ・小牧 可奈
・高橋 和

受賞コメント

市の魅力を伝えるために、市内に工場がある株式会社IHIを取材しました。事前に、羽田空港に足を運び、IHIのエンジンを搭載した飛行機の離陸シーンやエンジン部分の撮影を行いました。私たちの想いをぶつけたところ、取材を実現させることができました。日本を代表する会社IHIを私たちと同世代の方々を知ってもらいたいという思いで、有名なIHIのCMを見た高校生が動き出す、そんなストーリーの映像を作りました。ぜひご覧ください。

受賞作品は市のホームページで公開しています。ぜひご覧ください。
また、今回、惜しくも受賞に至らなかった作品も、市のホームページや公式SNSで順次紹介していきます！
高校生の個性溢れる作品をお楽しみに♪

作成過程を
紹介します

1

Edukuri(株)のPR動画に関する講義の後、チームに分かれて鶴ヶ島市の魅力を議論し、ストーリーボードを制作します。

2

自分たちでアポイントや撮影許可を取りつけ、撮影します。編集を行いフィードバックをもとに改善を繰り返します。

3

各チーム自分たちが作成した動画を携えてプレゼンを行います。この校内選考で選ばれた12チームが上映会へ。

4

この学習の集大成!! 地域の方を招いて、女性センタで作品の上映会を行いました。

5 Tsurugashima 2025.5

4